

# 市民とともに 政治動かす

# 日本共産党の 4議席



小田 桐たかし



植田 和子



高橋 あきら



いぬい えり

6月6日〜26日まで開催された流山市議会。立場の違いを超えて、市民の願いにどう応えるのか…議事に強く突き付けられました。

## 防災対策

### 避難者数6割削減

4月1日から防災計画が改定。避難者の最大想定数が2万5520人から1万44人と、6割も削減されました。市は、「住宅の耐震化率の向上」を理由にあげますが、発災直後、避難者が減る理由にはなりません。能登半島地震を教訓化しなくて良いのでしょうか。

### 「アナログ波使用は、県内2市だけ」 防災行政無線の対策強化を

「防災行政無線が聞き取れない」…この声にこたえるには、無線のデジタル化が不可欠です。日本共産党市議団の調査では、アナログ波に対応した部品は製造中止が相次ぎ、国もアナログ波使用停止を打ち出しており、対策が急がれています。しかし市当局は、日本共産



消防職員を増員する条例が可決。救急隊の増隊に加え、通信指令員を消防本部に専属で配置します。しかし松戸市では、10年前から配置されており、近隣市では本市が最も遅れた対応だったことが明らかになりました。

### 災害時の通信指令も

消防職員を増員する条例が可決。救急隊の増隊に加え、通信指令員を消防本部に専属で配置します。

## 小児救急

### 子どもの健康と命を守る市の取り組みを



小児救急医療をめぐるのは、広報（6月1日号）で「かかり方」を紹介するいつぼう、「夜間小児救急医療」（21時〜翌8時まで）は今年9月末で打ち切られる可能性が日本共産党市議団の質問で明らかに…。救急医療に勤務する小児科医師の不足に加え、「不採算部門

## マイナ保険証

### 紙の保険証存続を強く求める



「トラブルが絶えない」と医療機関から指摘があるのに、今秋から一本化が義務化される『マイナ保険証』。しかし市内の保有者は、国民健康保険・後期高齢者医療保険で6割を下回

## 開発

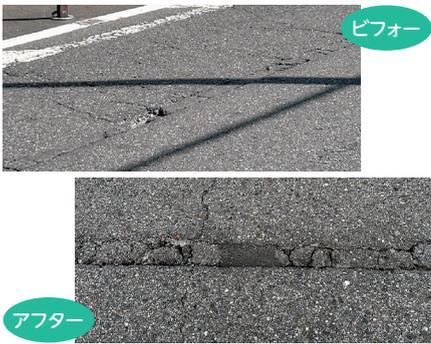
### 南流山地域にまだ人口誘致？

### キッパリ対決



閑静な住宅街が広がる南流山地域。しかし市長は、駅周辺の再開発を後押しするため、一定条件をクリアした建物に対する固定資産税などを3〜7年間にわたって減免する条例案を提案しました。日本共産党市議団の質疑に対し、「タワーマンションは拒め

## 身近な要求実現



道路修繕（流山3丁目）

いぬい えり



木谷工業前の交差点改良実現  
次は信号機の設置を

高橋 あきら



点字ブロックの修繕  
（運河ふれあい橋）

植田 和子



精神障害者割引  
来年4月導入へ

小田 桐たかし